

# 図書だより



令和5年度 5月号  
播磨南高校図書室

みなさん、こんにちは！

図書委員長の吉田さくら、図書副委員長の矢島昌典です。

今年度の目標は、

## 利用しやすい明るい図書室にする

図書委員みんなで利用しやすい図書室になるよう頑張っていきますので、ぜひ図書室に足を運んでください。よろしくお願いします。



## 図書室の利用について

**開館時間** 8:30から放課後16:50まで

**貸出冊数** 3冊

**貸出期間** 2週間

**きまり** 飲食禁止、荷物はロッカーへ(ただし貴重品は身につけておく)、静かに過ごす  
\*感染症対策のため、入口での手指の消毒(手洗い)をお願いします。

### 本の借り方

借りたい本を受付カウンターに持って行き、学年・クラス・番号を係に伝える。  
(係が不在の場合は、臨時貸出票に記入する。)

### 本の返し方

受付カウンターの返却かごへ本を入れるか、係に手渡す。

### リクエストの仕方

受付カウンターの緑のリクエストカードに記入して、司書室に提出する。

### 本の予約と検索について

受付カウンターで、要件を係に伝える。

### 自習について

閲覧室には、大型机、個別に仕切られた学習机がありますので使ってください。

(分類番号)



分類番号  
著者名  
巻数番号

本の背表紙に三段ラベルが貼ってあります。読みたい本を探すときは、閲覧室の分類表と照らし合わせて探してください。

## 校長先生にオススメの本を紹介していただきました！

書名:『風が強く吹いている』 著者名:三浦しをん

「風が強く吹いている」は、走ることが好きな学生が、個性豊かな仲間と衝突を繰り返しながら箱根駅伝に挑戦する物語で、映画化もされました。駅伝とは無縁の個性的な登場人物たちが、劣等感・無力感・迷い・悩みをそれぞれが抱えながらも箱根駅伝に向けて一つになっていく姿が、コミカルに描かれていてとても読みやすく、気付けば物語の世界に引き込まれて、自分もチームの一員になった気分になります。私は教師になってクラス担任を持っていましたが、生徒との関係がうまくいかず、もう無理やと諦めかけている時に、同僚の先生から紹介されて読みました。登場人物たちが持つ心の苦しさや葛藤が自分自身に映されて、後半の箱根駅伝のくだりは胸が熱くなり、ラストまで夢中で読んだあとの爽快感は今も良く覚えています。

三浦しをんさんの作品では、「神去なあなあ夜話」と「舟を編む」も爽快感を味わえてとても良かったです。他にも魅力的な作品が沢山あるので、図書室で一度、手に取って読んでみてください。

一冊の本が気持ちを楽にしてくれることがあります。一冊の本が気持ちを前向きにしてくれることがあります。そんな一冊の本に、皆さんも出会って欲しいと思います。素敵な一冊を探しに、ぜひ図書室に行ってみてください。

図書室に単行本と文庫本を置いています。ぜひ、手に取ってみてください。

